

職層研修「新任研修（前期）」

【第1回】	【実施日】	4月6日（水）、7日（木）、11日（月）
	【受講決定者数】	225名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員は全体の奉仕者として仕事をするのを忘れずに業務にあたりたいと思いました。組織の一員ということを常に意識して協力して業務を行いたいです。 ・自分たちの働く特別区の法的な位置づけや内部構造について理解を深めることができました。政令市の行政区との違いや東京都との関わり方など大変参考になりました。 ・地方公務員の服務について具体的にどのような行為が違法行為になるのかを学ぶことができました。守秘義務や信用失墜行為など、公私問わず気をつけなければならないことを改めて自覚することができました。 ・人権問題について、知識が無いということが差別につながるの、正しい知識を持つこと、また学ぼうとする姿勢が大切だと学びました。
【第2回】	【実施日】	4月12日（火）～14日（木）
	【受講決定者数】	245名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・組織と私たちでは、公務員と一般企業の社員の違いについて改めて考え、全体の奉仕者であるという自覚を持つことの大切さを学びました。住民の税金から報酬を得ていることを常に心に留め、区民の為や区の発展の為に誠心誠意努めたいと気持ちが引き締まりました。 ・都と区の仕事区分や特別区が生まれるまでの歴史を知ることができました。歴史を知る事で、何を期待されてこの事務が特別区に存在しているかがわかり、仕事の方針を意識しやすくなりました。 ・仕事以外の場でも、自分が公務員であることを常に心に留めて生活していかなければいけないと思いました。 ・人権問題について、自分はまだ知らないことが多いことを実感しました。無知であることが原因となり始まってしまう差別や人権侵害を少しでも減らしていくために、どのような人権問題の事例があるのかはさらに深めて行くべきだと感じました。
【第3回】	【実施日】	4月15日（金）、18日（月）、19日（火）
	【受講決定者数】	244名

	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・これから組織という中で、同じ目的を持って共に働くということを改めて感じました。そうして過ごす中で、人間関係の円滑さはとても大切なものになってくると思うので、まずは挨拶や報連相など、社会人として基本的なことから意識していきたいです。 ・地方財政について、基礎的な知識を踏まえ、特別区ごとの歳入状況を比較し、自分の所属する区の財政について具体的に学ぶことができました。また、グループワークでの話し合いを通して、他の区の財政状況についても知ることができました。 ・公務員としての信頼を失うリスクは身近なところに潜んでいることが理解できたため、個人情報の取り扱いなど、職務上知りうる情報の管理には十分注意を払う必要があると感じました。 ・様々な人権問題について、これまであまり身近な問題ではないと考えていましたが、講義を受ける中で身近に存在する問題だと感じました。そして、差別的な行動が現存しているという現状を理解した上、相互理解を進めていく必要があると思います。
【第4回】	【実施日】	4月20日(水)～22日(金)
	【受講決定者数】	252名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員として、住民福祉の増進のために公務員としての自覚を持つことの重要性について学ぶことができました。また、公務員と会社員の違いや心構えを理解することができました。 ・仕事を進める上で、仲間との連携や協力、1人だけで遂行していくものではないという自覚を持ち、上司の方たちとも連携を図りながら報告連絡相談を欠かすことなく取り組むことが大切であることを改めて学びました。 ・23区が出来るまでを歴史で学ぶことにより、自分が働いている街のことをより深く知ることができました。 ・公務員が世間からどのような目で見られているのか、また、どのような義務と権利を持っているのかを学ぶことができました。今後私が区民の皆様と接する中で、常に自分がどのような目で見られているのかを自覚することで、仕事に対して厳正に取り組むことができると感じました。
【第5回】	【実施日】	4月25日(月)～27日(水)

	【受講決定者数】	247名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは組織で働いているということを改めて実感しました。自分一人だけでは仕事は成り立たないため、職場の方々と報告、連絡、相談を徹底しながら仕事に取り組んでいきたいです。 ・区政における具体的なお金の動きや、財務における規則などを知ることが出来ました。身近な契約の話から、区全体の予算決算まで様々な規模の財政を把握する良い機会となりました。 ・公務員として業務以外の時間でも守らなくてはならないことがたくさんあるという事を学びました。特に業務の内容を職場以外で話す事など、無意識にしてしまうようなことは注意したいです。 ・人権問題は、セクシャル、部落、コロナ差別、いじめなど多岐にわたることを知りました。私は障害者差別についてチームで話し合い、障害者へ寄り添い手を差し伸べるような職員になるべきだと感じました。
【第6回】	【実施日】	4月28日(木)、5月2日(月)、6日(金)
	【受講決定者数】	229名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・職場のマナー、相互理解、相互協力が大切なことであると学びました。挨拶、時間を守る、言葉遣いに気をつける、相手の立場に立つ、一緒に仕事をやり遂げるなど、まずは社会人として当たり前のことを当たり前出来るようにしたいと思いました。 ・区民の多様なニーズに対応し、地域特有の課題を解決するという地方自治の目的を果たすために、税一つ取っても様々な工夫がなされていると学びました。 ・職務に励むにあたり、重要な書類を扱うことが多いと思うので確認を徹底しようと思います。また、断りにくい性格が汚職に巻き込まれる可能性にあるので、意識して行動しなければと感じました。 ・公務員と人権という結びつきをあまり理解していませんでしたが、世の中には様々な人権問題があり、公務員として働く中で大いに関わってくるのが分かりました。
【第7回】	【実施日】	5月9日(月)～11日(水)
	【受講決定者数】	221名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・組織とは、単なる人の集まりではなく、目的意識を持った集団であるということを学びました。

	<ul style="list-style-type: none">・同じ 23 区内でも、区によって様々な特色があることを学びました。グラフを用いて見比べることによって人口の差や、区のお金の出所をわかりやすく学ぶことができました。・国、都道府県、市町村の役割を改めて認識することができました。また、特別区が基礎的自治体に位置づけられるまでの歴史を詳しく学ぶことができました。・公務員として今後気を付けなければならない事柄や、キャリアアップ制度についてしっかり学ぶことができたのでとても良かったです。特に、処分事例を具体的に知ることができたため、より一層気を引き締めて職務に当たらなければならないことを痛感することができました。
--	--